

第 82 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録（案）

1. 日 時：2014 年 11 月 5 日（水）13 時 30 分～17 時 10 分
2. 場 所：日本機械学会 第 3,4 会議室
3. 出席者：飯田（東電）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、高野（中電）、大橋（IHI）、黒板（東芝）、小高（富士電機）、妹尾（関電）
代理者：位田〔谷口（川崎重工）〕
欠席者：堤田（MHPS 日立）、豊嶋（MHPS 呉）、
事務局：原

4. 配布資料

- 82-1 第 81 回構造分科会議事録（案）
- 82-2 構造分科会委員名簿
- 82-3 第 69 回火力専門委員会議事録（案）
- 82-4-1 第 70 回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 82-4-2 第 71 回臨時発電用設備規格委員会議事録（案）
- 82-5-1 正誤表 関電
- 82-5-2 正誤表 中部電力
- 82-6 なし
- 82-7-1 審議履歴表
- 82-7-2 レビュー票 MHPS 長崎
- 82-7-3 レビュー票 KHI
- 82-7-4-1 レビュー票 中部電力
- 82-7-4-2 レビュー票 中部電力（当日追加分）
- 82-7-5 レビュー票 IHI
- 82-7-6 なし
- 82-7-7-1 レビュー票 東京電力
- 82-7-7-2 「第 I 章 総則」 補遺（改訂案）
- 82-8 メール審議集約結果

5. 議題

- （１）前回議事録確認 [資料 82-1]
前回議事録（案）について確認を行ない、議事録案は承認された。
- （２）分科会委員・役員の承認 [資料 82-2]
再任候補として小高委員（富士電機）の火力専門委員会への推薦が、出席委員全員の賛成により承認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 82-3]

第 69 回火力専門委員会の審議内容のうち、主要な項目が以下のとおり報告された。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 81 回構造分科会報告
- ・ 発電設備技術検査協会の委託調査「平成 26 年度発電用火力設備技術基準等国際化調査(IIP)の委員会への委員派遣について

(3-2) 発電用設備規格委員会報告

1) 第 70 回規格委員会報告

[資料 82-4-1]

第 70 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下のとおり。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項はなし

2) 第 71 回臨時規格委員会報告

[資料 82-4-2]

第 71 回臨時規格委員会の議題である、原子力の設計・建設規格の誤記問題に関連して、誤記発生の経緯、誤記の概要、今後の対応策案などについて報告した。原子力規制委員会対応に関して火力専門委員会への影響はないが、規格原案のチェック&レビューシステムの改善、正誤表等の対ユーザー情報発信システムの改善、規格審議プロセスの改善については、規格委員会全体の課題として検討が進められることとなる。

(3-3) メール審議結果報告

[資料 82-8]

飯田主査より、資料「メール審議集約結果」に基づき、メール審議結果が報告された。

(4) 審議事項

(4-1) 正誤表

1) 正誤表 関西電力分

[資料 82-5-1]

妹尾委員から正誤表について説明があった。

- ・ PG-90.1.12 PW-52 の参照の未記載は、誤記とまでは言えないので、正誤表とはせずに改訂時での対応とする。
- ・ PG-90.1.14 参照している PW-1.2.3 の内容を確認して、誤記とするかどうか判断する。
- ・ UG-84(h)(3) 備考を「誤記修正」とする。

2) 正誤表 中部電力分

[資料 82-5-2]

高野委員から正誤表について説明があった。

- ・PW-59.9.1 最大寸法 1.58→3mm の変更は緩和される方向なので、意図してそのままにした可能性もあるため、経緯を確認する。

■正誤表については、各担当分をなるべく次回までに準備し、確認することとした。

(4-2) Part UNF の取り込みについて

正誤表の作成、レビュー票審議を優先するため、当面保留とし、改訂作業に目処が付いた時点で、ASME 等の引用箇所を整理して検討する。

(4-3) レビュー票審議

1) レビュー票(UG24-33) IHI

[資料 82-7-5]

- ・UG 28 今回 APPENDIX32 自体の取り入れ検討を行い、取り入れることになっているので、APPENDIX の参照はそのまま残す。
- ・図 UG-29.2 下から 3 番目の曲線の番号は、現在の位置では紛らわしいので、右上に記載する方向で見直す。
- ・UG 30 S I 値を取り入れる。
- ・UG 31 S I 値を取り入れる。
- ・UG 33(g) Le の式において、(図 UG-33.1 参照) → (UG33(g)参照)へ修正する。

2) レビュー票 MHPS 長崎

[資料 82-7-2]

- ・UW-20.7 Part UCL → ASME Part UCL
- ・表 129.3.1 11/4Cr . . . Gr : No2 → No1
5Cr . . . P 番号 : 5A → 5B
変態開始温度の注の(1)が 2 つあるので、1 つを取る。
改訂案に 9Cr の行が無いことについて (意図したものか否か) 確認する。
- ・129.3.4.5 25mm → 厚さ 25mm
- ・129.3.4.6 用途 → 要領書
- ・132.1.2 specified の訳追加

3) レビュー票 KHI

[資料 82-7-3]

- ・前回コメントを反映した修正箇所を確認した。

4) レビュー票 中部電力

[資料 82-7-4-1,2]

- ・ 前回コメント箇所でも修正の箇所は修正する。
- ・ $S_y^* = 2.3S_y$ の係数について …… 加工硬化により降伏点が高くなるので、方向としては正しいが、詳しい委員がいれば、係数 2.3 の妥当性についてコメントをいただきたい。
- ・ 参照基準のリスト表 A-360 に追加した和訳について、各委員が確認する。
Central Certification Program の良い和訳があれば、後日連絡する。

5) レビュー票 東京電力

[資料 82-7-7-1,2]

- ・ 前回コメントを反映した修正箇所を確認した。

6) 第 I 章 総則 補遺 改訂案

- ・ ページ 補遺 5 支持鉄鋼 → 支持鉄構
- ・ ページ 補遺 5 『JIS B 8267(2008)「圧力容器の設計」を参照・・・』
→ 『JIS B 8267(2008)「圧力容器の設計」の許容応力値を採用・・・』に修正する。
- ・ ページ 補遺 8 必要厚さと腐れ代に更に余肉を付けるための要因の記載に
「剛性」を加える。また、「管内流量の調整のため」の表現を検討する。

■当初の予定より若干遅れ気味であるので、あと 1～2 回でのレビュー完了を目指して、作業を進める。

(4-4) 各委員からの提案・報告

分数を使った計算式の表現方法について

- ・ 文章の中に数式があるなどのために、スペース上止むをえずスラッシュ式を使う場合を別として、計算式を提示するところでは、スラッシュ式を使わずに、分数方式の式を使うことを基本とする。

6. 次回開催予定

日 時：2014 年 2 月 4 日（水）13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室